

町民意見募集

登別市・白老町令和12年度以降のごみ処理施設の在り方についての方針（案）

情報ノート

日程	内容
1月4日(水) ～ 2月3日(金)	<p>ごみ処理施設であるクリンクルセンターは、平成12年4月に運転を開始し、計画的に延命化しながら令和12年3月までの30年間稼働することとしています。その後の施設の在り方について新設・再延命化の二つの選択肢がありますが、この方向性を示すため、登別市と白老町は令和3年4月から現施設のプラント設備や建築設備の診断調査による再延命化の評価のほか、「経済性」「温室効果ガス排出量の削減」「災害に対する強靱性」「持続可能なごみ処理体制」などの観点において比較検討を行ってきました。比較検討の結果、再延命化は、「温室効果ガス排出量の削減」や「災害に対する強靱性」の面では新設に劣るものの、「経済性」をはじめ、多くの項目で新設と同等もしくは優位な結果となったことから、登別市との協議において、「再延命化」が妥当であるとの考えに至り、方針案をまとめました。</p> <p>現時点での方針は「案」であり、意見などを参考とし成案化するためパブリックコメントを実施します。</p>

- ◆資料配布・閲覧場所：役場、各出張所、いきいき4・6、白老コミセン、図書館、町ホームページ
- ◆意見の提出方法：配布場所への持参、郵送、ファクス（82-4391）、町ホームページから担当課へのEメール

問い合わせ先：生活環境課 環境グループ ☎82-2265

教育

地域と学校が連携して子どもたちの成長を支えよう！

知っていますか？白老町の地域学校協働活動

町は、幅広い地域住民の参画により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」に取り組んでいます。今後もより多く幅広い層の地域住民や団体などの協力の下、緩やかにネットワークをつくりながら、地域学校協働活動を充実させていく方針です。

【地域学校協働活動の例】

学びによるまちづくり	学校に対する多様な協力活動	地域の行事、イベント、ボランティア活動などへの参画
<ul style="list-style-type: none"> ▶地域の魅力発信や地域活性化について考え、実行する学習活動 ▶職場体験学習、ふれあいふるさとDayなど 	<ul style="list-style-type: none"> ▶登下校の見守り ▶学校周辺環境の整備 ▶授業の補助や部活動支援 ▶企業などによる出前授業ほか教育プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ▶子育て・育成団体が行うイベントやボランティア活動への参加 ▶地域活動（町内会・子ども会・防災活動など）への参加

【コーディネートの例】

「緑塾」生け花教室（白老小）



登校時の見守り活動（萩野小通学路）

地域学校協働活動 — ボランティア募集

個人・法人問わず、協働活動を通じた多彩な学びの提供や、地域と子どもたちとの交流に興味がある方は、ぜひ下記まで連絡してください。皆さんの手で子どもたちの学びと成長を支えませんか。

問い合わせ先：地域学校協働本部（事務局：生涯学習課生涯学習グループ） ☎85-2020